



12月になって運動場では縄跳びをする子どもたちが増えてい
ます。高学年にお手本をしてもらったり、回数を数えてもらったりしな
がら、練習している子。ビュンビュン軽やかに跳んで記録を伸ばそう
としている子。みんなで声を掛け合って長縄に挑戦しているクラス。
このように子どもたちの元気な声が響き渡る中で、本日、2学期が終え
られますことは、保護者の皆様、地域の方々の温かいご協力やご支援が
あったのことで、深く感謝しています。



8月25日から始まった2学期も今日で81日目。山の学習、修学旅行、陸上運動記、社会科見
学、学芸会、なかよし集会等を通して、自ら学んだり、友達と積極的にかかわったりしながら、子
どもたちは、たくさんの力（考える力、優しい心、元気な体）を身に付けきたと実感しています。

2学期の始業式で、「みんなでみんなが楽しくなる学校をつくる」ために、**安心・自信**をキーワ
ードにして取り組んでいくことを伝えました。

まず、**安心**についてです。長い間使用していなかったチャイムを導入して、何度も時計を見るこ
となく、時間いっぱい遊んだり、活動したりできるようにしました。太陽の時間や昼休みの終わり
には、5分前のチャイムも入れるなど工夫もしています。チャイムが鳴ると、一斉に運動場へ遊び
に出る子どもたちの足音、反対に、運動場から校舎へ走って帰って来る足音。どちらの足音も大好
きです。チャイムの合図を守って、気持ちを切り替え、よく学び、よく遊ぶという、学習規律（リ
ズム）がほぼ定着してきたと思います。

また、落ち着いた環境の中で安心して過ごせるように、「温かい言葉」を使うことも大切です。
「今はちくちく言葉だよ。」と友達に言われた子が、「あっ、ごめんね。」と言って謝っている姿
を何度も見かけました。気付いて声をかけた子もすばらしいし、言われて謝った子もすばらしいと
思います。この小さな積み重ねが、子どもたちの意識付けとなっていくのだと思います。ご家庭で
はいかがでしょうか？冬休みの間、たくさんの「温かい言葉」を子どもたちの心に届けていただ
きたいと思います。ただ、社会の一員としてしてはいけない行為に対しては、学校では厳しく声をか
け、めりはりのある指導をしています。ご家庭や地域でも、子どもたちへの声掛けをよろしくお願
いいたします。

次に、**自信**についてです。学習面では、4か月の間に、課題へ集中して取り組むことができるよ
うになってきたと思います。特に、算数科では、ノートに自分の考えを式だけでなく、言葉や図を
書いて説明する力が付いてきました。その力は理科や社会等、他の教科でも使えるようになってい
ます。また、隣の人とのペアトーク、クラスでの話し合い活動を通して、友達の考えを聞いたり、教
え合ったりしながら、自分に自信をもつこともできています。学校には多くの仲間がいます。一人
では難しい課題も、みんなで考えていくことができます。それが学校で学び合うよさだと思いま
す。吉備小学校では、その学び合いができていくところが、すばらしいところですね。さらに、よりよ
い学び合いにするためには、「先生や友達の話をもっと真剣に聞く」ことが必要だと思いま
す。3学期取り組んでいきたいと思います。

友達とのつながりについては、2学期は異学年とのふれあい活動
を積極的に行うことができました。上学年が「どんな遊びをしたら
喜んでくれるかな」と、楽しいアイデアをたくさん考えてくれた
ので、1・6年、2・4年、3・5年のふれあいが深まりました。
また、2年生は4年生に何度も掛け算九九を聞いてもらって、自信
をもつことができました。このようなふれあい活動により、子ども
たちは、満足感を得たり、自己肯定感を高めたりすることができま



した。